

エネシフ
みやぎ

\\ みやぎでも自然エネルギーやっぺし! //

第2回会合 小水力発電のおはなし

宮城でも自然エネルギーすすめましょう!

第2回会合は、小水力発電がテーマです。

日本初の、市民出資による小水力発電「立山アルプス小水力発電事業」を担当する浦井さんに、小水力発電事業のイロハ、そして、市民出資や今年7月から始まる「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」についてお話いただきます。

ぜひご参加ください!

[プログラム]

1.
エネシフみやぎと
会合の趣旨説明

2.
「小水力発電の魅力とその可能性」
(仮題)

環境エネルギー政策研究所研究員
浦井彰さん/Q&A

3.
宮城での小水力発電の
取組みについての紹介&Q&Aなど(予定)

スペシャルゲスト

新環境プランニング 堀籠重充さん
(水利権や宮城県内の資源状況等についてのお話)
川崎町の資源をいかす会 菊地重雄さん
(川崎町での小水力発電の取組みのご紹介)

4.
全体まとめと
今後の活動について
*終了後懇親会(予定)

[参加方法]

メール本文に、「氏名」
「メールアドレス」
「所属(任意)」
「コメント(任意)」を
ご記入の上、

eneshif.miyagi@gmail.comまで
事前申込みをお願いします。

※会場の都合上、
先着40名ほどになります。
ご了承くださいませ。

[日時]

6月23日(土)

13:30~16:30

[場所]

仙台市民会館
(視聴覚室)

[参加費]

500円
(会場代・資料代)

[お問合わせ] エネシフみやぎ(氏家、布田、諸岡) eneshif.miyagi@gmail.com

浦井彰さんプロフィール

NPO 法人環境エネルギー政策研究所研究員、地域事業支援業務・市民出資企画等担当。東京工業大学エネルギー科学専攻工学修士。民間企業を経て現職。日本初の市民出資による小水力発電事業「富山県小早月川小水力発電事業」を担当。生まれは福島、育ったのは東京、民間企業時代に18年ほど多賀城で勤務し、今は仙台市民。

小水力発電とは？

水を使うが、大規模なダム等の設備を必要としない発電方法。河川をはじめ、農業用水路やため池などにタービンを設置し、水の流れと落差を使って発電します。

エネシフみやぎとは？

宮城でもエネルギーシフト（＝持続可能な社会に向けたエネルギー利用の転換）を進めましょう！

原発にも化石燃料にも頼らず、身近にある自然エネルギーを活用した持続可能な地域や暮らしを、宮城から創りたい—そんな想いを持った方に集まっていただき、自然エネルギーに関して、学び、共有し、実践につなげていく場として、2012年5月に誕生しました。

第1回会合（5/12）では、東北芸工大／エネシフヤマガタの三浦秀一先生によるお話「エネルギーシフトする欧州と東北のこれから」 & 宮城で自然エネルギーを進めるワークショップを実施。現在、FACEBOOK やメーリングリスト等で情報交換をはじめています！

<http://www.facebook.com/miyagi.de.eneshif/info>

活動内容は以下（予定）

- ・自然エネルギーに関する勉強会 & 情報共有
- ・宮城県内のエネルギーシフトに関するネットワーキング
- ・自然エネルギー導入の実践

【お問い合わせ】エネシフみやぎ（氏家、布田、諸岡） eneshif.miyagi@gmail.com